

SICかわらばん

SIC、入居企業、地域企業を結ぶ情報紙 — 地域版 —

発行日：令和4年(2022年)9月30日(金)

地域企業紹介 80

株式会社ワード技研

「革新的3Dテクノロジーで 新たなる挑戦！」

自動車プレス鉄板部品の開発設計などを手掛ける株式会社ワード技研の代表取締役である川井聡社長を相模原市中央区清新の本社に訪ねました。

川井聡社長は、昨年5月に創業者であり父である川井秀次氏（現：取締役会長）より事業を承継し代表取締役に就任した。同社は、昭和62年の創業以来、「企業は人なりを基本に、価値ある技術の創造」を企業理念に掲げ、①自動車プレス鉄板部品の開発設計、②プレス金型設計、③プレス金型のNC加工データ作成、④3Dリバースエンジニアリングの4つの事業を柱としている。そして、すべて三次元CADを使った設計を行っていることが同社のおおきな特徴と言える。中小企業の中では、かなり早い段階から三次元CADの導入を進めてきた結果、現在40台ほどの三次元CADを保有するとともに、技術的にもお客様の要望に応えられる体制（態勢）が構築されている。現在、日産自動車を中心にSUBARU、本田技研工業、トヨタ自動車グループ企業といった大手自動車メーカー及びティア1とされる大手部品メーカーと直取引しており、その技術力や対応力、そして数々の開発実績に裏付けされた信頼が同社の一番の強みだ。

自動車のプレス金型の設計からスタートした同社は、常に時代を先取りした新たな取り組みにチャレンジしてきた。平成21年には“自動車プレス成形シミュレーションの解析事業”を開始。業界では「サイマルテニアスエンジニアリング」といわれているもの。自動車のボディー部品は、一枚の鉄の板からプレスの金型で形状を成形していく。その一つの過程をすべて“バーチャル”で検証していこうというもので、コンピュータ上でシミュレーションしていく。従来、自動車メーカーは、実際に試作金型や生産用金型を作り、現物ができた時に初めて不具合などの検証を行ってきたが、毎回現物で検証していたら時間もお金もかかる。同社が得意とするサイマルは、金型を“バーチャル”で作リ、デジタル上で品質不具合を検証し、現物を製作する前に修正し品質を向上していく技術だ。これにより金型の試作品の生産回数や現物での修正回数も削減でき、効率的に生産できる金型や生産工程の提案などを行っている。

また、平成26年頃から「3Dリバースエンジニアリング」事業を開始した。ハイエンド非接触光学式の3D測定器（ATOS）を駆使して、様々な製品の複製及び製品の特長を考慮した3Dデータの作成を行う事業だ。



代表取締役社長：川井 聡（かわい さとし）

所在地：神奈川県相模原市中央区清新8-18-9

従業員数：36名

資本金：1,000万円

事業内容：自動車のサイマル、金型、NCデータ及び部品の設計、
3DリバースエンジニアリングURL：<https://word-g.com/>

部品ができれば測定して、3D設計データと照らし合わせて品質保証を担保しようというもの。自動車業界以外では、スポーツ用具・建築関係・エネルギー発電関連などからの引き合いも多くなっているという。さらに「ベンチマーク」事業にも取り組んでいる。例えば、ガソリンからEV車への移行に伴い、各企業にて他社のEV車を調査する機会が増えている。今後、こうした需要にも積極的に応えていきたいと川井社長。

そんな川井社長は相模原市南区桜台の生まれ。地元の小中学校を経て神奈川県立新磯高校へ進学した。中学・高校時代は自身の主張が強く、父である会長と将来に対して意見の食い違う時期があった。高校卒業後、大田区にある日本工学院専門学校CAD設計科で機械設計全般を学ぶ。その後、就職することも考えたが、とにかく自立したい、そして海外の知見を広めたいという思いからアメリカのシアトルへ留学。1年目は語学で挫折しそうになったが、2年目には見事短大のGreen River Community Collegeへ入学。その後4大のCentral Washington Universityへの編入も実現させ、通算5年間の留学生生活を優秀な成績で卒業することができたそうだ。帰国後は三重県内の企業で1年間の修業を積んでから同社へ入社した。入社後、取引先に

常駐し、厳しい上司のもと開発設計の業務に携わりながら多くの経験を積んだ。

この1年間、会長から社長を引き継ぎ、無我夢中で取り組んできた川井社長は、「サイマルを中心とした自動車プレス金型設計事業を様々な分野に横展開したい。同時に3Dリバースエンジニアリング事業の拡大を視野に自動車業界以外からの受注も増加させる。さらに、今まで以上にネットワークを広げ、設計から製造まで一貫受注ができる体制を構築していきたい」。そして「その実現のために、社員との調和とチャレンジ精神を大事にしていきたい」と抱負を語る。たまの休日はお酒とアクティビティでリフレッシュ。ゴルフ、登山、キャンプなどのアウトドア派であり、最近では社員とサイクリングも楽しんでいるそうだ。ちなみに、「SIC経営塾」に参加した際、自社の現状をじっくり考え分析することができたことが、今の経営に役立っていますと川井社長。

2代目社長として、先代が築いた経営基盤をさらに発展充実させていくために、新技術・新分野への「チャレンジする心」を大事にし、ワード技研だからこそ磨ける技術で革新を目指す川井社長の“新たな挑戦” ははじまったばかりだ。

相模原を元気にする！ 地域情報サイト「まいぷれ相模原」

入居企業紹介

81

FN パートナース合同会社

相模原市内の地域に密着した情報を発信する地域情報サイト「まいぷれ相模原」を運営しているFNパートナーズ合同会社の田川直輝社長にお話を伺いました。

令和3年（2021年）2月にDesk10に入会し、その翌月にFNパートナーズ社を設立した田川社長。その後、サイト開設の準備を進め、同年8月に「まいぷれ相模原」をオープンしました。現在では、公式インスタグラムのフォロワー数が5,000人を超えるなど、サイトの認知度も着実に高まっています。

地域情報サイト「まいぷれ」は、『ちょっとがんばれば自転車でまわれちゃう、そんな小さなまちの情報をお届けします』をキャッチフレーズに、地域のユニークな情報を発信する地域密着型ポータルサイトです。本年7月現在、全国310サイト・696市区町村で展開されており、各地域の魅力や個性をPRしています。FNパートナーズ社は、「まいぷれ相模原」の地元編集部として、同サイトの運営を担っています。

「まいぷれ相模原」では、飲食店に限らず、美容室やネイルサロン、エステ、フィットネスジム、学習塾、英会話教室など、幅広いジャンルの店舗が掲載されています。また、店舗だけでなく、イベントや行政情報などのお役

立ち情報も掲載。お店のページは編集部スタッフが直接取材・撮影した情報をもとに作成するなど、利用者目線で各店舗のおすすめポイントを知ることができます。また、各種キャンペーンや新メニューなどの最新情報も随時更新されており、便利でお得な情報が盛りだくさんです。

掲載企業にとっては、店舗の簡易的なWEBサイトとして活用でき、Googleとの連携もできるため、文字検索や地図検索で上位表示も狙えます。自らサイトやブログを開設したり、SEO対策やMEO対策を行う手間が除けて、店舗を簡単かつ効果的にPRできます。例えば、サイト内のニュース機能を活用すると、LINEからわずか3ステップで情報を投稿できます。季節に応じたイベントや新メニュー、クーポンとしても利用でき、アイデア次第で多様な活用方法があります。

その他、同社では、折り込みチラシ感覚でWEB広告を簡単に配信できる広告代理店事業も開始しています。店舗周辺に「今いる人/住んでいる人/過去に訪問した人」などに対してスマートフォンアプリに広告を配信するサービスです。商圏や年齢、性別などターゲット層に合わせて配信先を指定できます。本サービスは、全国ですでに4,000社以上の広

告掲載実績を有しており、配信先アプリも数百種類にのびります。

同社は代理店として本サービスを取り扱っており、配信エリアは相模原以外の地域も指定できるので、広域から集客を図りたい店舗にもおすすめです。さらに、初期費用が不要で、広告費はクリック数に応じた課金制のため、手軽にWEB広告を始められるのもポイントです。

今後、FNパートナーズ社では、「まいぷれ相模原」を中心とした地域の魅力発信に加えて、店舗同士の連携・ネットワーク作りにも取り組み、相模原の地域活性化に貢献していきます。



FN パートナース合同会社
Desk10
<https://sagamihara.mypl.net/>



まいぷれ



インスタグラム

今回は成長型中小企業等研究開発支援事業（通称：Go-Tech）の概要をご紹介します。ここではGo-Tech事業の特徴を見ていきたいと思います。

(1) 川下企業や市場のニーズを踏まえた技術の高度化を支援

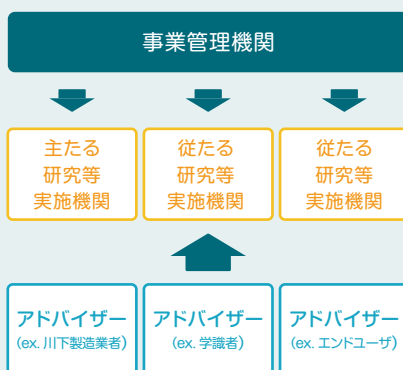
研究開発というと大学や研究機関で取組んでいるテーマを思い浮かべられる方が多いと思いますが、Go-Tech事業では川下ユーザ、つまり「市場が求める技術」の高度化を支援します。例えばこれまでの加工方法では実現できなかったロボット用の部品というようにユーザニーズとその後の事業化の可能性があることが必須申請要件です。技術分野は幅広く、加工方法、機械、制御、材料、システム、さらにはバイオまで、技術開発の目的が市場ニーズ視点であれば申請可能です。また今年度からは高度なサービス開発も支援の対象になっています。支援対象の技術分野は中小企業の特定期のづくり基盤技術及びサービスの高度化に関する指針に該当するものすべてが対象です。

詳細は (<https://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/shishin.html>) でご確認ください。

(2) 共同体を構成すること

Go-Tech事業の最大の特徴は企業単独での申請ができず、共同体を構成する必要

があることです。共同体で必須なのは「事業管理機関」と呼ばれるプロジェクトマネジメントを行う組織と「主たる研究等実施機関」、つまり研究開発を主導する中小企業者です。Go-Tech事業は予算規模が大きく、複数の企業や大学等が関わるプロジェクトになるために「事業管理機関」が必須とされています。「従たる研究等実施機関」には中小企業者や、大学等の研究機関、「アドバイザー」には川下ユーザや学識経験者が参画することが一般的です。



(3) 補助金額と補助対象経費

補助金額については前回もご説明しましたが、3年間で最大9,750万円（出資獲得枠は3億円）です。注目したいのは補助対象経費で、物品費（設備、備品、消耗品等）、人件費、旅費、委託費、その他（外注費、知財関連経費等）、間接経費と幅広い費用が補助金の対象になっています。システム

開発のように人件費が多く発生する研究開発には有効です。

活用を積極にご検討いただきたい制度のひとつですが、複雑なのが玉にキズで、公募要領を見ても複雑でよくわからないと言われる方が多くいます。中小企業基盤整備機構の中にGo-Tech事業専門の無料相談窓口がありますので、詳細について知りたい方は申し込んでみてください。
http://www.smrj.go.jp/regional_hq/kanoto/sme/supporting_industry/index.html

今回はGo-Tech事業（旧サポイン事業）の実績をお持ちの企業様に研究開発のご経験を紹介していただく予定です。



中小企業の特定期のづくり基盤技術及びサービスの高度化に関する指針



「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）」に関する相談



株式会社ボラリス
代表取締役 佐々木 浩子

25年にわたり精密機械メーカーに勤務し、主に技術開発・事業開発を担当。中小企業診断士登録後、2015年株式会社ボラリスを設立。企業の課題や悩みを整理し、技術、サービス、ノウハウなどをサポート。企業や経営者の想いを“可視化”することを理念に掲げている。

おかげさん

淵野辺駅北口徒歩5分、地元で銀杏横丁と呼ばれるマンション1階にある「串揚げダイニングおかげさん」。店長の橋本さんは生まれ育った地元の街に賑わいを取り戻したいと、長年愛されてきた店名を継承、三代目おかげさん店長として今年3月にオープン。

人気の料理は、国産、天然の良い素材を活かした串揚げ・串焼き、新鮮な旬の魚介のお刺身（日替わり）、店長創作の生ハム梅のクリームチーズなど。テイクアウトもできます。

サントリー認定の神泡超人店で学んだ腕で注がれたビール、料理との相性も抜群です。

うまい料理とうまい酒、落ち着いた大人の雰囲気の中で、しっとり飲みが楽しめます。

【所在地】 神奈川県相模原市中央区淵野辺3-9-17
【営業時間】 16:00～23:30 (L.O. 23:00)
【定休日】 毎週木曜日・第2水曜日
【TEL/FAX】 042-711-7225



旬のお刺身盛り合わせ（日替り）



串焼き



串揚げのおまかせ盛り



橋本店長



The HINT56 (SIC ミニセミナー)

共同開発を成功に導く!!

押さえておきたい“共同開発契約”のポイント

中小・ベンチャー企業では、他社や大学と“共同開発”を進めることで、技術の相互補完や開発期間の短縮、開発コストの合理化などを図ることができます。一方では、双方の役割や成果物の定義、見込まれる権利などをあやふやにしたまま共同開発を進めることで、開発や事業化が失速し、それまでの良好なパートナーシップに影を落とすことにもなりかねません。

そこで、今回のThe HINTでは、技術法務分野で豊富な支援実績を持つ高瀬弁護士を講師にお招きし、円滑な共同開発のための契約とはどのようなものかを考えていきます。

【内 容】	1.共同開発のメリット／デメリット
	2.共同開発契約の主な内容 (例) 参加者間の役割分担・費用負担、知的財産権の帰属、競合開発禁止条項(開発目的とその範囲を含む)等
	3.事例にみる共同開発契約のポイント

【講 師】	弁護士法人高瀬総合法律事務所 代表弁護士 高瀬 芳明 氏
-------	---------------------------------

【開催概要】	日 時：令和4年10月5日(水) 15時～16時30分
	場 所：オンライン開催 (Zoomミーティング)
	参加費：無料
	定 員：30名(先着順。ただし、SIC入居企業優先)

【申し込み方法】	WEBサイトよりお申し込みください。受付後、参加URLや視聴方法などに関するご案内を、別途E-Mailにてご連絡いたします。
----------	--



【お問い合わせ】	㈱さがみはら産業創造センター 事業創造部 樽川・片山
----------	-------------------------------



令和4年9～10月 SIC EVENT CALENDAR イベントカレンダー

令和4年10月4日(火)	バリ友募集!!バリ取りエキスパート集団による自動化相談会
令和4年10月5日(水)	The HINT56 (SICミニセミナー) 共同開発を成功に導く!!押さえておきたい“共同開発契約”のポイント

SIC空室情報 (令和4年9月30日 現在) ※お気軽にお問い合わせください。

部 屋	空室数	賃料/月額 (共益費込・消費税込)
SIC-2 Creation Lab.	〇オフィス (50.2㎡) 1	189,970円

バリ友募集!!

バリ取りエキスパート集団
による自動化相談会

さがみはらロボット導入支援センターでは、メーカーや商社等とタイアップし、様々な講習会やセミナーを開催しています。

浜松市に拠点を置くバリ取り問題解決チーム「TAFLINK」、スリーエムジャパン株式会社、日東工器株式会社とのタイアップにより開催する本セミナーでは、アルミダイカスト部品のバリ取り・研削・研磨などを行う「バリ取りロボットシステム」の実演デモを交えて、バリ取り工程の自動化やバリ取りを巡る様々な課題の解決に向けたヒントを探ります。

【内 容】 第1部 ミニセミナー (13:30～14:40)
1.バリ取りの問題解決と自動化のポイント解説
2.研磨工程自動化における研磨材の重要性について
3.ロボット用バリ取り工具の紹介

第2部 実演デモ (14:50～16:00)
1.TAFLINKによるロボット操作デモ (ファナック・安川電機製ロボット)
2.TAFLINKによる実技デモ 2種類の仕上げ方式 (ワーク把持・ツール把持) の特徴や操作方法
3.3Mのバリ取り研磨材の紹介・実演

第3部 個別相談会 (16:00～16:30) ※希望者のみ

【開催概要】	日 時：令和4年10月4日(火) 13時30分～16時30分 場 所：相模原市立産業会館 (1階・多目的ホール) 参加費：無料 定 員：30名(先着順) ※市外企業も参加OK
--------	---

【申し込み方法】	さがみはらロボット導入支援センター のWEBサイトよりお申し込みください。
----------	--



【お問い合わせ】	㈱さがみはら産業創造センター 事業創造部 花摘・樽川
----------	-------------------------------

詳しくはSICウェブサイトをご覧ください。

<https://www.sic-sagamihara.jp>

編集後記

これまで様々なことに挑戦し、逆境を乗り越えてきた川井社長。ご自身を「負けず嫌いで、根気強い性格」と語ります。何事も諦めずにやり抜いてきた経験が、経営者となった今でも活かされているそうです。皆さんは、どのような経験が、自信や成長につながったり、仕事に活きたりすると感じますか？



(株)さがみはら産業創造センター(SIC)
〒252-0131 相模原市緑区西橋本5-4-21
電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077
E-mail: koho@sic-sagamihara.jp

ご意見・ご感想を
お待ちしております。

ウェブサイト <https://www.sic-sagamihara.jp/>